

湖の辺のまち長浜デザイン会議 要点録

と き：R6.2.8（木）19：00～21：00

ところ：BIWAKO PICNICBASE

参加者：18名

内 容：

- ゝ自己紹介（名前、最近はじめたこと）
- ゝ湖の辺のまち長浜未来ビジョンの確認
- ゝ湖の辺のまち長浜デザイン会議の目標とグランドルールの確認
- ゝ本日のトークテーマ（参加者提供）

1. 旧豊公荘 湖畔の場所のつくり方

琵琶湖と街がすぐそばにあることをもっと活用したい。その時に琵琶湖と街の間にある豊公園が1番のポイントになる。今回コロナ禍になってから閉まっている国民宿舎で今後解体予定の豊公荘を借りることができ、掃除やペンキ塗りを行い、場所を作り、空間デザインを施し、豊公荘が解体される前に少しでも人々の広がりとして解体された後の豊公園にあってほしいもののヒントを掴めればと思っている。

商業の街だった長浜だが、ローカルな人たちと、豊公園のような「街の人々の居場所」を作ることが大切になってくると思う。

立場を越えて出会える場所が作れないかを考え、豊公荘の建物があるうちにいろいろ試してみて、次豊公園内に建物を立てるときにつながるように、今回のデザイン会議は豊公荘で行うことになった。

2. ちゃれんじラボ 日曜日のプログラム案

まちなか教室「ちゃれんじラボ」で街の人や大人と絡めるような子どものプログラムを行いたい。子供たちは「本物の体験をしたい」と日々言っているようで、豊公荘で何かできるのではないかと意見が出た。

街の人や大人たちと絡めるようなプログラムを考えており、発案の中には子どもたちが自分たちで考えて出店をするなどが出た。

3. 新店舗を見に行こう

前回話題にあがった「新店舗の営業時間外を子供の居場所や街の人々に活用してもらいたい」というお店の改装中の店内を見せていただいた。

長浜の町家らしく奥に長く、子どもの勉強や遊びに適しているという印象を持った。店内を案内していただきながらアイデアの進捗状況を伺い、実店舗を持

たない地元の方の商品を販売するための商品棚などをどのように配置するかなどを教えていただいた。

4. 新しくできた子どもの教育現場を見学

デザイン会議から話が進み、まちなか教室「ちゃれんじラボ」を開いている場所を見学した。

自分たちで襖を黒板に変えたり、携帯をかざすだけで机などの資材を提供していただいた方の記事を見ることができるシールの仕掛けがあったり、新しく生まれた場所にワクワクしながら参加者は教室内を探索していた。

5. インクルーシブスポーツカフェたんぼぼ

実家の空き家を使い、高齢者の居場所に活用したいというインクルーシブスポーツカフェたんぼぼに実際に行くことになった。

共有スペースには囲碁や将棋、カラムやポッチャなどがあり、子どもから大人まで一緒に楽しんでいる景色が浮かんできた。

初めてカラムやポッチャをする方々は楽しみながら、この場所の可能性を感じていた。キッチンや大きなテーブルもあり、老若男女が交流できるコミュニティスペースになると思う

※次回：3/14（木） 19：00～21：00 LAKE SIDE Gallery（旧豊公荘内）

（BIWAKO PICNICBASE に集合してから向かいます。）

【記録写真】

